

# DJ Magazine 12月号(2019)

ドキュメンタリージャパン

vol.45 2019.12.1

映像制作会社ドキュメンタリー  
ジャパンが今月お届けするテレビ  
番組や映画のお知らせです。



ガイアの夜明け

## 残業を減らす!45時間の壁

放送予定: テレビ東京 12月3日(火) 予定 午後10:00~10:54



今年4月に施行された「働き方改革関連法」で大企業の残業規制が始まった。各企業が改革を進める中、ガイアでは大手外食チェーンの「大戸屋」に密着。外食産業全体が直面する深刻な人手不足の中、それぞれの店舗の問題点を洗い出し、残業時間の改善を試みる大戸屋。果たして働き方改革は実現できるのか?店主たちが見つけた、新たな「働き方」とは…。令和元年、働き方改革の最前線を追った。

制作スタッフの  
つぶやき

「働き方改革ってなんだ?」というところから取材はスタートしました。様々な現場の取材を進めるうちに、ただ残業時間を削減すればいいという問題ではないことに取材班も気づかされていきました。深刻な人手不足によって仕方なく残業を強いられる人、基本給が低いために残業代で稼がなくては家族を養えない人、ただただ働くのが好きな人。残業を捨てて、休みをとるのか。「頑張る」だけじゃ働き方は変わっていかない。今回の番組は、全ての働く人へみてほしいと思います。

アシスタント・ディレクター 西村緑美



新日本風土記

## 「忠臣蔵」

放送予定: NHK BSプレミアム 12月13日(金) 午後9:00~9:59

再放送: 12月20日(金) 午前8:00~8:59

放送予定: NHK BS 4K 12月20日(金) 午後8:00~8:59

再放送: 12月27日(金) 午前10:00~10:59



日本の年末の風物詩「忠臣蔵」。47人の赤穂浪士討ち入り事件が題材のこの物語は、各地の風土に溶け込み様々な形で息づく。赤穂市の小中学校で行われる「義士学習」。北海道・空知太には、浪士達が眠る港区・泉岳寺の墓所そっくりの供養塔が。唯一切腹を免れた浪士を巡る伝説の数々。打首も切腹もない沖縄・伊江島の「組踊忠臣蔵」。「忠臣蔵」を通じて日本人の心の風景に出会う旅。

制作スタッフの  
つぶやき

めぐり台がめぐられ、はじまりはじまり…芸能の世界で人気演目の忠臣蔵は、赤穂事件を基にした物語。ということは風土があるはず…どんな撮影になるのやら、難題でした。北海道から沖縄まで津々浦々の旅で出会ったのは、今に伝える人々の情熱や逡巡、物語のキーパーソンたちのミステリアスで不思議な末路。最後にはきっと、カタルシスだけではない複雑な人の心に触れられたんじゃないかと思えます。あと、塩は大事。

撮影 井手口大騎ダグラス



世界はTokyoをめざす

## 「女王の座は我の手に~ポーランド女子ハンマー投げ」

放送予定: NHK BS1 12月15日(日) 午後9:00~9:49



ロンドン、リオで金メダルを獲得し、世界記録を6回更新させ「絶対女王」と呼ばれるアニタ・ヴォダルチュクが左膝の手術を行い、年内の全試合不参加を宣言。女王の不在を機に若手にチャンスが巡ってきた。五輪3連覇の目標に向かう絶対女王と、その座を奪取しようと動き出す新星。投てき強豪国ポーランドの伝統を受け継ぐ者たちの戦いを追う。





昭和の選択

『山本五十六 開戦への葛藤』～“避戦派”提督はなぜ真珠湾を攻撃したのか～(仮)

放送予定：NHK BSプレミアム 12月11日(土) 午後8:00～8:59

再放送：12月18日(土) 午前8:00～8:59

太平洋戦争開戦時の日本海軍連合艦隊司令長官・山本五十六は、真珠湾攻撃を成功させたことで歴史に名を残した。しかし彼は、一貫してアメリカとの戦争に反対し、開戦回避の言動を繰り返していた。そんな山本が、なぜ勝てるはずのない戦争の口火を切ることになったのか。山本の直筆や貴重な証言を交え、その葛藤と日米開戦への道程を追う。



国立国会図書館

## Special / Tokyo Docs 2019 レポート!!

今年もドキュメンタリーの国際共同制作をする為のプレゼン会議・上映会「TOKYO DOCS」が開催されました。ドキュメンタリーを制作する各社、海外の放送局、NETFLIX、VICE や世界の配給会社などが一堂に会す熱い場となりました。企画のピッチング(発表)に参加した3名のレポートをお届けします。

2011年、お遍路中に撮影した素材から再始動した企画。日本の媒体で出し続けるも難しく、最後の砦「マスタークラス」で海外に向けて企画をどうプレゼンし、ブラッシュアップするかを学んで参加。日本では、企画が素晴らしい、才能に惚れた、とか絶対に言われません。予算や枠組み度外視で企画の潜在的な面白さを追求。英語を話せたら更に可能性あり!

ディレクター 小野さやか

イラン人の監督と2本の企画をピッチさせていただきました。企画の基本的な考え方、トレーラーの作り方や言葉の選び方など、2人で何十時間もやり取りし、かなりの紆余曲折を経て当日に。賛否両論、様々なリアクションを頂きました。同じ企画でも見る人が違えば受け取り方も違う、しかし皆に共通する何かはある、ということを感じてきたのは大きな財産です!

プロデューサー 田中志緒理



2年前の TokyoDocs で『東京クルド』という短編作品を上映し、今年は本作の長編化を目指してピッチングに参加しました。2年前の上映を機に、私達の企画はテレビ放送から WEB 配信、そして海外の映画祭での上映と展開してきました。TokyoDocs は、1本の企画に潜んでいる“大きく広がる可能性”を教えてください。今回の参加をきっかけに、私達の企画がどんな世界に広がっていくのか?を楽しみに、挑戦し続けたいです。

ディレクター 日向史有



### 第15回(最終回)

アシスタントディレクター 奥村崇史

番組名 / NHKスペシャル「ロストフの14秒 日本 vs ベルギー 知られざる物語」

サッカー日本代表の8強入りが消えたベルギー戦の14秒に焦点を当てたドキュメンタリー。あの14秒の中で何が起きていたのか。フィールド上の選手や元日本代表監督へのインタビューからその謎がひも解かれ、アスリートたちのトップレベルの判断力や信念、見えざる苦悩が明らかになる。見る前と見た後で同じ14秒がまるで違って見え、ドキュメンタリー映像の意味や力を改めて考えさせられた。

### 記憶に残るテレビ番組

～若者の“テレビ離れ”が進んでも…テレビはやっぱり面白い!  
DJ若手スタッフがおすすめの本一冊をご紹介します～

15

### 制作中の番組



その他、多岐に渡る作品を制作中です! 詳細はドキュメンタリージャパンのHPまで。

### 編集後記

紅葉真っ盛りの蓼科に行った。横谷溪谷の乙女滝でマイナスイオンをたっぷり浴び、信州の新蕎麦に舌鼓を打ち…とココロも身体もリフレッシュ! 気持ち新たに日常に戻ろうと、ハンドルを握った。が、東京に向かう高速が事故渋滞で全く動かず。往路は3時間足らずのドライブだったのに、復路はなんと5時間超えの難行に。晴れやかだった気持ちは、次第にどす黒い邪念雑念イライラにまみれ、家に着いた時にはもはやリフレッシュのカケラもなくなってしまった。旅は公共交通機関に限る、と肝に銘じた。(M.Y)

Design by HARIMA koutarou

株式会社ドキュメンタリージャパン

HP: <http://www.documentaryjapan.com>

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目12番20号 和晃ビル1F TEL:03-5570-3551 FAX:03-5570-3550